

南の風



柏市立風早南部小学校
校長 伊藤 喜美子



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

「なぜ? どうして?」を大切に

令和6年が始まりました。新しい年の始まりを皆様におかれましては、健やかにご迎えのことと存じます。新年早々、能登半島での地震や羽田空港での飛行機の衝突事故など、大きなニュースが飛び込んできて、何気ない当たり前の生活を送ることのできる幸せを有難くかみしめる新年のスタートでした。子どもたちが元気に登校してきた姿を見て、保護者の皆様や地域の方々のおかげと、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新しい年になると干支の話題が多く聞かれます。そこで、3学期の始業式では、次のような「干支」の話をしました。

皆さん、今年の干支は何年ですか? もちろん今年は、辰年ですね。



干支について調べてみると①昔は時間や月日、方角等をはかるものだった。

②中国から伝わったものである。③日本だけでなく外国にもある。などが分かりました。

「丑三つ時」という言葉を聞いたことがあるかと思いますが、お化けの出る時間らしいのですが、一体何時ごろなのかな? また、日本の干支には、「猫」が入っていませんがなぜなのでしょう? さらに、外国にも干支はあるらしい。「猫」が入っている国もあるらしい。どうして日本と違うのでしょうか? 等子どもたちに投げかけてみました。



普段生活をしていると「なぜだろう?」「どうしてだろう?」ということそのままだにしてしまいがちです。自分が疑問に思ったことを「自分で調べてみる」「考えてみる」

「人に聞いてみる」等、自分から学ぼうとする力が今求められている大事な力だと思います。

始業式の後、嬉しいことに干支について調べている学級が見られました。また、

個人で考えたり調べたりしている姿も見られました。「タイとベトナムには、干支の中に猫が入っているよ!」「丑三つ時は、夜の12時くらいだと思っなあ…」

「丑三つ時は、2時から2時半の時間帯です!」等、教えにきてくれた子どもたちもいました。



本校では、「自ら考えて学ぶ力」をつけさせるために、学年に応じて様々な取り組みをしています。

まとめとなる3学期にどんな「なぜ?」「どうして?」が生まれて、自分の力で解決していくのか、見守っていこうと思います。引き続き、皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

